

追悼の辞

(In Memoriam of Professor Yoshinobu Kumata)

学 長 島 田 晴 雄

熊田禎宣教授が突然お亡くなりになったとの知らせがあったとき、本学にとって大変貴重な方を失ったと大きな衝撃を受けました。

熊田先生は、平成12年の政策情報学部創設と共に本学に着任され、政策情報学部を支えてこられたお一人でした。同時につくられた政策研究科博士課程においても、幅広い分野で深い学識をお持ちであった熊田先生は論文指導等で大いに活躍してくださいました。

また、学外においても日本学術会議会員として、経済政策分野、地球環境分野の委員長を務め、日本環境共生学会、日本計画行政学会、日本不動産学会、日本社会情報学会、日本都市計画学会など多くの学会の設立にも携わり、会長など要職を務められました。国際的にも International Society of City and Regional Planners, Asian Real Estate Society など多くの国際学会において役員や日本代表を務められ、日本の学術の進行・発展に貢献されました。

本学教員の中で学問研究において熊田先生の右に出る者はいないと言っても過言ではないほど、熊田先生の学識は高いものであったと感じています。

本学では平成21年度から教職員の表彰を行うようになりましたが、熊田先生は学術研究分野の功績で表彰に値する方だと思っていましたが、残念なことに表彰を行う矢先に帰らぬ人となってしまいました。

今年度、政策情報学部は10周年を迎え、記念式典や様々な行事を行いました。是非熊田先生にも一緒に祝って戴き、政策情報学部の今後の発展を見届けて戴きたかったと心から思います。

熊田先生のような優れた研究者が最後に活躍の場とされた大学であることを本学は誇りに思い、これからも発展を遂げていきたいと思えます。